



CLUB HARLEY

カッコイイだけじゃ満足しない!?
愛車で走る楽しさ2倍増し!!

Ride the HARLEY-DAVIDSON.

ノベトキナルミ
CH卒業記念

★ ★ ★

晩春の宮崎県で
シーサイドクルーズ!!

Miyazaki
Seaside Cruising



New Standard of
Custom

カスタムの新常識!!

特集
ツアリングに
効く

Joints Custom Bike Show 2017
カスタムシーンの
最新トレンド大調査!
ハーレー乗りのワードローブ
初夏のレザーは
コイツで決まり!!

「イージーライダーズ」のオリジナルパーツでオフ車にモディファイ。ほぼボルトオンパーツで製作されているってんだからオドロキである



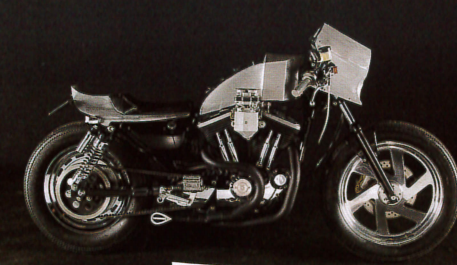
タンクをストレッチさせたようなカバーがXLでは新鮮な印象。「トライジャ」らしい美しいモールドリングのテクニクはお見事の一言



「バッドランド」のソフトテイルはオリジナルのガターフォークをセット。これだけでもフロントまわりの迫力と個性がグッと高まっている



軽快なイメージが「グラベルクルー」らしいカフェ。レーシーな雰囲気だけドストリートをサラッと流しても様になりそうなのがよいよね



エッジのきいたベアメタルの外装が男らしい「グリースモーターサイクル」のマシン。カフェというよりもはや装甲車みたいな雰囲気

ツクバサーキットでスポーツバイクを追い回す戦闘機!

サーキットでゴリゴリ膝を擦りながらスーパースポーツとバトルしてる「ジョイライド」のFXR。カフェではなく本気のレーサーであります



前傾姿勢の

レーシーなヤツ

今、世界的にカフェレーサーが大ブームってこともあってジョイントでもそれっぽいカスタムが増加。「ハーレーなのにセバハン?」なんて言われた時代は遠くになりけり。スポーツスターだってダイナだって、ヴィンテージだって前傾しちゃいます。スピード感あふれるシルエットはやっぱりバイクカスタムの原点でしょ

JOINTS Custom Bike Show

2017

美しいメタルワークが目を引く「ビーマシン」のリジッドフレームスポーツ。レザーやシート、ウインカーなど細部の作り込みは、どこかチームバンク的でクールだ

テールをバサリ切り落としてドラッグスタイルに仕上げた「ロデオ」。同店が得意とするコンプリート車両だから同じ仕様でオーダーできるぞ



赤いアルマイトでポップな感じになったバンヘッドは「リスキービジネス」の作品。倒立フォークやオイルクーラー付きで何気に本気の仕様



「さとうマリンサイクル」はショベルに大径ビレットホイールを合わせてネオヴィンテージに仕上げた。細部の作り込みもクオリティ高し!



超ロングなスプリングーに360mmのリアタイヤ。どこがシートか分からないくらいモールドリングが施された「トライジャ」のカスタム。さすがのひと言!

やっぱりスプリングーが好き!

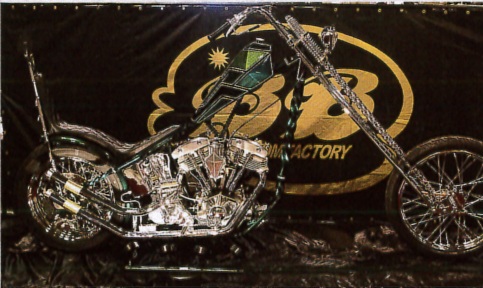
最先端の高性能サスも良いけど、やっぱりスプリングーには華があってカスタムの世界では根強い人気。付けるだけで旧車テイストになるし機構がシンプルだからワンオフで製作しやすいっていうメリットもある。また、現行ラインアップにはないから、最近では社外パーツが盛り上がりつつある。来年はミルウォーキーエイトにスプリングーってのも出てくるかも!

ネジネジスプリングーを持ち込んだのは「カスタムファクトリーBB」。アメリカのショーでアワードを連発する実力者ならではのクオリティ

「遠藤オートサービス」は得意のグースネックにスプリングーをセット。ヘッドライトにカウルを付けてレーサーチックにモディファイ

バーンやバッドダッド、シニスターのパーツで製作した「スズキ&アンソニエツ」の1台。ほぼボルトオンでここまで作り込めるという好例

アメリカでアワードを獲得した「カスタムワークスZON」。このハブステアは独自設計で、もちろんちゃんとしてる。この発想には誰もがオドロいた



秀逸カスタムの
ディテールを盗め!



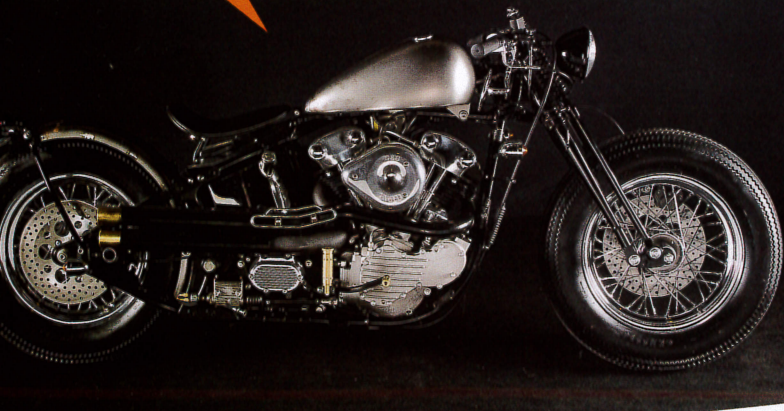
BESTサイドバルブに選ばれた「リポルト」のUモデルはシッシーバーにイカリをあしらうなど海をテーマに製作。細部へのこだわりは脱帽モノ



何じゃこりゃ? なヘルメットを発見。後ろから走ってきてミラーに映ったらかなり不気味だと思われる

ラジカルなカスタムをまるごとマネするのはかなりハードルが高いけど、ある一部分なら愛車に取り入れやすい。ビルダーの細かいテクニクやアイデア見つけて盗むのもショーバイクの見方のひとつ。そこから新しい流行パーツやスタイルも生まれてくるのだ!

本物の旧車はメッチャ高価だけどコンプリート車ならお手頃デス!



「PLOT」のコンプリートはオリジナルフレーム&スプリングーにS&Sナックルを搭載。バンとショベルも用意し、価格は約300万円ってんだからお値打ち。旧車スタイルが欲しい人は要チェック!



ヘッドライトとスクリーンのメッシュカバーが新しい「ブライズバイクサロン」のFLTR「マッドマックス」的な世界観がオモシロいよね

ハーレーのために ビルドされた カスタムシヨップ 渾身のライダーズ。



DEERSKIN COWL NECK JACKET

ハイエンドなカスタムに合う、ラグジュアリーなシルエットを追求。深くアゴまで隠れるネック部分が防寒性を発揮。後ろはジッパーで開くため、ヘルメットとの干渉を防いでくれる。30万2400円

TRIJYA

トライジャ

問い合わせ/トライジャ TEL072-970-3110
trijya.com

乗っている時はもちろん、眺めているだけで楽しくなる。そんな見た目や機能を自分に合わせて追求していくハーレーカスタムの真髄を、ハーレーと切っても切り離せないライダーズジャケットに落とし込んだ、ビルダー渾身の一着が登場。

前身頃、襟、袖が1枚の革で繋がっているため、肩に縫目が無い珍しい作り。袖通りをよくし、腕を上げたときのツッパリ感をなくすための工夫だ。素材にはラッカーなどの樹脂を使わず、100%染色で色を付けたディアスキンを使用。1.75ミリの厚さがあってもムレずに快適なのは、素材を厳選しているからこそ。ほかにもバイク乗りだからこそ気になるディテールに手を加え、使いやすく、美しくビルド。幾多のアワードを獲得してきたビルダーの魂が、ライダーズにも注がれている。



W RIDERS

上半身の筋肉の形に沿った立体裁断で、驚くようなフィット感と美しいシルエットを実現。腕の動きや裾の長さなど、バイクに乗った時の快適な着心地を追求しているほか、マグネット式の外ポケットや豊富な収納など、とにかくこだわりが満載。19万4400円



DEUCE JACKET

素材は羽織っているのを忘れるくらい軽快なシープレザー。スマートなシルエットながら、長年着込んだようなエイジング加工と、腕のキルティングが無骨な印象。3万1320円



革のかすれた質感や着込んだシワ。自分だけの一枚に育てるため毎日のようにジャケットを着込んだり、羽織ったまま寝る、なんていうツワモノもいるくらい、経年変化に惹かれてレザージャケットを着る人は多い。そんな革の楽しみを知っている人なら、職人によるエイジング加工がいかにリアルか分かるはず。買ったときからこなれて、なんて贅沢、手を伸ばさずにはられない。

RIDZ

ライズ

問い合わせ/ライズインターナショナル
TEL045-628-9666 ridez.jp

軽くくて深い
経年変化の味わい。

Brand **G-SHOCK**

ハーレーの相棒には タフなヤツがよく似合う。

問い合わせ/カシオ計算機 TEL03-5334-4869 g-shock.jp

アメリカの果てしなく続く荒野。周りに建物なんて何もなくて、あるのはどこまでも続く道と、青い空だけ。時計がなければ時間感覚は失われてしまうけど、Gショックがあればどんな場所でも正確に時間を刻んでくれる。

新生『グラビティマスター』は、3つの時刻取得システムを搭載し、どんな状況でも正確な時刻を取得できるように進化。省電力システムも

さらに強化されたので、タフさにますます磨きがかかっている。また、Gショックとしては初めて2枚の回転ディスクを採用。日付や曜日を始めた情報が表示される。ハーレーに乗っていると一番心配な振動も、耐震構造が今まで以上に強化されているので問題ナシ！ タフで頼れる腕時計。キャプテン・アメリカも、Gショックだったら投げ捨てなかったかも!?



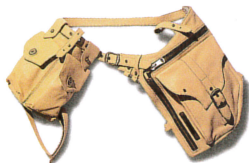
GPS衛星電波と標準電波受信機能による時刻修正機能に加え、Bluetoothによるモバイルリンク機能を新たに搭載。3つのシステムで世界中のどんな場所でも正確な時刻を取得できるのだ。10万8000円



グローブをしたままでの操作性や、必要充分+αの荷物が入る収納力にこだわりアリ。表地にはしなやかな牛革を、裏地には軽くて丈夫なコーデュラナイロンを採用。5万2000円

ハーレー乗りには捧げ Monthly **HOT PR**

ハーレー乗りなら知っておきたい、ホットな新商品をピツ
text/R.Murofushi 室伏梨華 photo/S.Sawada 澤田聖司



ベージュ



レッド

Brand **TRIJYA×Obelisk**

レッグバッグは 手ぶら派の賢い収納。

問い合わせ/トライジャ TEL072-970-3110 trijya.com

荷物を背負って走るのは、長距離になるほど面倒クサイ。だけどサイフにケータイ、タバコやカメラなんかは、どこに行くにも最低限持ち歩きたいもの。だったら負担の少ない腰に巻きちゃえばいいじゃん！ という発想を形にした、カスタムショップならではのアイテムが登場。

バイクに座ったままでも荷物の出し入れがしやすく、収納も豊富。ガンポケットを彷彿させるデザインもクールだ。右足側のポケットは取り外して別のベルトと組み合わせることも可能。上質で柔らかい革はヨレやすいのでは？ と思いきや、生地が弱い部分にはカシメを打ってしっかり補強。細かい部分までこだわり、アイデアを詰め込んで使いやすく。快適に仕上げる仕事ぶりは、カスタムに通じるものを感じずにはられない。